



318	施設名	一般廃棄物最終処分場
	部局(課)名	環境産業部(環境衛生課)
	所在地	朴瀬字日影57-175外
	施設面積	500.25㎡
	建設年度	H6

※管理棟、水処理施設2、井戸ポンプ室含む

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート	台帳価格	138,439,010円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H6+耐用年数31年×1.2=R13

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	搬入量3,902 (t) 46,583千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施（一部解体）
「基本的な方針の考え方」 一般廃棄物の最終処分場のため、適切な維持・補修等により、施設の長寿命化に努める。 一部施設については、解体予定。（管理棟130㎡、新水処理施設208.55㎡） なお、処分場は今後、数年で満杯となるが、受け入れ終了後も周辺水域への影響の無いよう浸出水等の水処理を実施しなければならない。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について(指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など)

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [11~20年以内]

浸出水等が自然の状態で放流基準に達するまでは、適切な維持・補修等により施設の延命化に努め継続的に使用する。

4 管理上の課題等

施設の老朽化が進んでいる。

5 管理に関する実施方針

延命化に向け、必要な施設の修繕等を実施し、適正な管理を行う。(一部解体)

6 管理に関する実施計画

総合計画実施計画において、H30年度~R4年度までの5年間の修繕計画を策定。
(回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕は計画外)

修繕等の実績及び今後の計画

22-供給処理施設No.318

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	新処分場電動五方ボール弁更新、フェンス、回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕、電動遮断弁、電磁流量計	3,155	
H30	高圧引込ケーブル取替修繕、回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,848	
R1	ギアボックス交換、電動遮断弁取替、取水ポンプ修繕、警備設備修繕、連続遠心分離機オーバーホール修繕	3,395	
R2	配管修繕、ガス検知器定期点検修繕、フェンス修繕、連続遠心分離機オーバーホール修繕	2,144	
R3	新処分場水処理施設屋根外壁修繕、回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	7,604	
R4	管理棟・ポンプ室塗装工事、回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	4,518	
R5	回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,350	
R6	回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,350	
R7	回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,350	
R8	回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,350	
R9	回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,350	
R10	回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,350	
R11	回転円板減速機、ブロワー、攪拌機、連続遠心分離機オーバーホール修繕	1,350	
合 計		32,114	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	56,101	22,328	28,357	
修繕費	3,256	2,528	3,395	
光熱水費等	52,845	19,800	24,962	
事業運営費	13,513	13,614	13,812	
合 計	69,614	35,942	42,169	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他	23,287	23,859	23,979	一般廃棄物処理手数料
合 計	23,287	23,859	23,979	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	3,880.34	3,777.76	3,902.39	搬入量 (t)

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



319	施設名	落合団地排水施設
	部局(課)名	都市整備部（道路河川課）
	所在地	落合字下谷地263
	施設面積	23.85㎡
	建設年度	S55

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート	台帳価格	3,696,750円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S55＋耐用年数38年×1.2＝R8

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 2,231千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 地域の排水処理のための施設であり、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

現在、業務の一部を委託している。

※民間等への譲渡の検討について

公用施設であるため民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

建物等の長期機能維持に必要な、修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.319

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	ポンプ修繕	265	
H30	—	0	
R1	ポンプ施設フェンス張替工事	1,759	
R2	—	0	
R3	機器修繕	300	
R4	—	0	
R5	機器修繕	300	
R6	—	0	
R7	機器修繕	300	
R8	—	0	
R9	機器修繕	300	
R10	—	0	
R11	機器修繕	300	
合 計		3,524	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	373	113	1,866	
修繕費	265	0	1,759	修繕、設備等工事
光熱水費等	108	113	107	電気料
事業運営費	216	251	265	委託料÷6ヶ所
合 計	589	364	2,131	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



320	施設名	能代温泉ポンプ室
	部局(課)名	環境産業部（観光振興課）
	所在地	落合字亀谷地
	施設面積	39.74㎡
	建設年度	H15

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	3,050,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H15＋耐用年数15年×1.2＝R3

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 2,147千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 現在13者に温泉を供給している。 温泉は重要な観光資源であるが、配管図等もなく、老朽化による破損等が生じた場合を考慮し、今後の在り方について検討する。 機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

民間への業務委託について検討する。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡はしていないが、譲渡要望があった場合は検討する。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

供給管等が劣化が進行している。また、配管の図面がないため、支障があった場合は対応が困難である。

5 管理に関する実施方針

老朽化による配管等の大規模な更新が必要となった場合は、廃止等について検討する。

6 管理に関する実施計画

温泉の供給に支障を来さないよう維持管理に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.320

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	1,052	1,113	1,472	
修繕費	0	0	385	送湯ポンプ修繕
光熱水費等	1,052	1,113	1,087	電気料、保険料
事業運営費	1,144	791	856	委託料
合 計	2,196	1,904	2,328	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	1,205	907	907	1社H30.1.15で終了
その他				
合 計	1,205	907	907	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	14	13	13	供給者数

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



321	施設名	能代工業団地排水機場
	部局(課)名	都市整備部 (道路河川課)
	所在地	扇田字扇渕13
	施設面積	188.80㎡
	建設年度	S58

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート	台帳価格	29,264,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S58＋耐用年数38年×1.2＝R11

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 6,110千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 能代工業団地の排水処理のための施設であり、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

現在、業務の一部を委託している。

※民間等への譲渡の検討について

公用施設であるため民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

建物等の長期機能維持に必要な、修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22-供給処理施設No.321

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	ポンプエンジン冷却水温度調整弁交換外	1,435	
R1	小破修繕、ネットフェンス修繕	1,000	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		2,435	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	981	2,320	1,846	
修繕費	244	1,435	1,000	
光熱水費等	737	885	846	消耗品費、燃料費含
事業運営費	3,199	3,488	3,474	全体事業費－維持管理費
合 計	4,180	5,808	5,320	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



322	施設名	浜浅内地区農業集落排水処理施設
	部局(課)名	都市整備部（上下水道整備課）
	所在地	浅内字出戸谷地192
	施設面積	244.29㎡
	建設年度	H11

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート 平屋建	台帳価格	46,042,500円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H11＋耐用年数38年×1.2＝R27

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	208人 16,154千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	公共下水道への接続を今後検討
「基本的な方針の考え方」 能代市生活排水処理整備構想（平成28年3月策定）では、人口減少を考慮した将来の運営について検討した結果、公共下水道へ接続することが最も有利となっている。 接続時期については、できる限り早い接続が有利となるが、接続先の下水道整備が令和7年度予定となっているため、早くても令和8年度以降の接続となる。 それまでは、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。 能代市農業集落排水事業特別会計経営戦略の計画期間は、平成29年度から令和8年度までの10年間となっており、計画期間の中間時である令和3年度に見直しを行うほか、経営、財政の条件が大幅に変更となった場合にも見直しを行う。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

維持管理を浜浅内地区農業集落排水処理施設利用者組合に委託している。

※民間等への譲渡の検討について

補助事業の処分制限期間でもあり民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

処理対象人口が少なく、使用料だけでは事業費を賄えないため、不足分については一般会計繰入金により事業を継続している。

5 管理に関する実施方針

建物等の長期機能維持に必要な修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.322

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	施設修繕	250	
H30	—		
R1	エアリフト用ブロワー交換修繕	200	
R2	外部引込柱配管及び配線取替修繕、電極棒取替修繕	709	配管484、電極棒225
R3	—		
R4	—		
R5	—		
R6	—		
R7	—		
R8	—		
R9	—		
R10	—		
R11	—		
合 計		1,159	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	135	106	211	
修繕費	124	95	200	
光熱水費等	11	11	11	保険料
事業運営費	14,452	14,746	14,700	主に処理場維持管理業務委託（電気・水道料含む）、長期債元金・利子の返済
合 計	14,587	14,852	14,911	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	3,379	3,317	3,261	
その他	11,602	11,822	11,967	主に一般会計繰入金
合 計	14,981	15,139	15,228	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	242	236	208	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



323	施設名	仁鮎簡易水道事務所
	部局(課)名	二ツ井地域局（建設課）
	所在地	仁鮎字中台62-6
	施設面積	34.78㎡
	建設年度	H21

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	3,850,500円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	H21＋耐用年数24年×1.2＝R20

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 9,415千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
当面は、施設を維持、存続していくが、現在、国から公営企業会計適用を要請されていることなどから、今後、指定管理者等と施設更新や運営のあり方について検討を進める。それまでは、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

今後、集約・複合化について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

指定管理者制度を導入している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕を要する箇所はないが、突発的に大規模な修繕等が必要となった場合、その経費については、現在の基金残高だけでは対応できない恐れもある。

5 管理に関する実施方針

当面は、現在の指定管理者制度に基づき管理体制を維持していく。
法適用への移行も要請されていることから、今後のあり方について指定管理者等と話し合いを進める。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22-供給処理施設No.323

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	56	57	55	
修繕費				
光熱水費等	56	57	55	建物保険料、借上料等
事業運営費	9,638	9,302	9,210	指定管理料
合 計	9,694	9,359	9,265	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	10,085	9,746	9,652	給水使用料
その他				
合 計	10,085	9,746	9,652	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	961	929	899	給水人口

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



324	施設名	仁鮎簡易水道取水管理室
	部局(課)名	二ツ井地域局（建設課）
	所在地	桜台55-3
	施設面積	7.41㎡
	建設年度	S46

1 施設の概要

構造・階数	コンクリートブロック造 平屋建	台帳価格	852,150円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S46＋耐用年数41年×1.2＝R2

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
当面は、施設を維持、存続していくが、現在、国から公営企業会計適用を要請されていることなどから、今後、指定管理者等と施設更新や運営のあり方について検討を進める。 それまでは、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

今後、集約・複合化について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

指定管理者制度を導入している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕を要する箇所はないが、突発的に大規模な修繕等が必要となった場合、その経費については、現在の基金残高だけでは対応できない恐れもある。

5 管理に関する実施方針

当面は、現在の指定管理者制度に基づき管理体制を維持していく。
法適用への移行も要請されていることから、今後のあり方について指定管理者等と話し合いを進める。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.324

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	56	57	55	
修繕費				
光熱水費等	56	57	55	建物保険料、借上料等
事業運営費	9,638	9,302	9,210	指定管理料
合 計	9,694	9,359	9,265	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	10,085	9,746	9,652	給水使用料
その他				
合 計	10,085	9,746	9,652	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	961	929	899	給水人口

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



325	施設名	仁鮎簡易水道管理室
	部局(課)名	二ツ井地域局(建設課)
	所在地	仁鮎字中台140-11
	施設面積	47.90㎡
	建設年度	S55

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート造 平屋建	台帳価格	8,622,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	S55＋耐用年数50年×1.2＝R22

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
当面は、施設を維持、存続していくが、現在、国から公営企業会計適用を要請されていることなどから、今後、指定管理者等と施設更新や運営のあり方について検討を進める。 それまでは、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

今後、集約・複合化について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

指定管理者制度を導入している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕を要する箇所はないが、突発的に大規模な修繕等が必要となった場合、その経費については、現在の基金残高だけでは対応できない恐れもある。

5 管理に関する実施方針

当面は、現在の指定管理者制度に基づき管理体制を維持していく。
法適用への移行も要請されていることから、今後のあり方について指定管理者等と話し合いを進める。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.325

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	56	57	55	
修繕費				
光熱水費等	56	57	55	建物保険料、借上料等
事業運営費	9,638	9,302	9,210	指定管理料
合 計	9,694	9,359	9,265	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	10,085	9,746	9,652	給水使用料
その他				
合 計	10,085	9,746	9,652	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	961	929	899	給水人口

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



326	施設名	水道用建築物（沢口浄水場・配水場（浄水管理棟））
	部局（課）名	都市整備部（上下水道整備課）
	所在地	二ツ井町字沢口45-1
	施設面積	221.80㎡
	建設年度	H24

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建	台帳価格	116,381,318円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	H24＋耐用年数38年×1.2＝R40

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	2,543人 31,987千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 二ツ井・荷上場地区簡易水道施設の浄水・配水の拠点施設であり、機能維持のための修繕により建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

これまで民営簡易水道や個人井戸等に生活用水を求めていたが、水源環境の変化や施設の老朽化により、これらを統合した水道供給施設である。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

施設の運転管理及び維持管理を民間へ委託している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

水道供給施設であり、定期的な維持補修を施して施設の長寿命化を図る。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	118	128	119	
修繕費				
光熱水費等	118	128	119	
事業運営費	27,260	26,782	29,147	
合 計	27,378	26,910	29,266	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	27,312	26,105	29,005	
その他	66	805	261	
合 計	27,378	26,910	29,266	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	2,592	2,554	2,543	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



327	施設名	烏野水道
	部局(課)名	二ツ井地域局（環境産業課）
	所在地	二ツ井町駒形字烏野
	施設面積	2.25㎡
	建設年度	H7

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	386,250円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H7+耐用年数15年×1.2=H25

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	— —	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 民間事業者の除マンガン施設として設置していたが、現在、代替処理設備の設置により機能していない。 解体、撤去について検討する。		

※集約・複合化の検討について

他の施設への代替性は低いと考えられるため集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

既に耐用年数を経過しており、今後、劣化等が発生する可能性がある。

5 管理に関する実施方針

内部の除マンガン装置と合わせて状況を確認し、解体時期を検討する。

6 管理に関する実施計画

10年以内の解体を目標とする。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.327

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	0	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



328	施設名	富根地区簡易水道上野ポンプ場操作発電室
	部局(課)名	二ツ井地域局（建設課）
	所在地	飛根字新上野158-2
	施設面積	10.53㎡
	建設年度	H5

1 施設の概要

構造・階数	コンクリートブロック造 平屋建	台帳価格	1,000,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H5＋耐用年数34年×1.2＝R16

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 9,196千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
当面は、施設を維持、存続していくが、現在、国から公営企業会計適用を要請されていることなどから、今後、指定管理者等と施設更新や運営のあり方について検討を進める。 それまでは、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

今後、集約・複合化について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

指定管理者制度を導入している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕を要する箇所はないが、突発的に大規模な修繕等が必要となった場合、その経費については、現在の基金残高だけでは対応できない恐れもある。

5 管理に関する実施方針

当面は、現在の指定管理者制度に基づき管理体制を維持していく。
法適用への移行も要請されていることから、今後のあり方について指定管理者等と話し合いを進める。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.328

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	52	53	51	
修繕費				
光熱水費等	52	53	51	建物保険料等
事業運営費	9,503	9,177	9,115	指定管理料
合 計	9,555	9,230	9,166	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	9,953	9,613	9,508	給水使用料
その他				
合 計	9,953	9,613	9,508	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1,071	1,038	1,011	給水人口

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



329	施設名	富根地区簡易水道羽立ポンプ場操作室
	部局(課)名	二ツ井地域局（建設課）
	所在地	飛根字羽立下579
	施設面積	9.72㎡
	建設年度	H2

1 施設の概要

構造・階数	コンクリートブロック造 平屋建	台帳価格	1,668,783円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H2＋耐用年数34年×1.2＝R13

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
当面は、施設を維持、存続していくが、現在、国から公営企業会計適用を要請されていることなどから、今後、指定管理者等と施設更新や運営のあり方について検討を進める。 それまでは、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

今後、集約・複合化について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

指定管理者制度を導入している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕を要する箇所はないが、突発的に大規模な修繕等が必要となった場合、その経費については、現在の基金残高だけでは対応できない恐れもある。

5 管理に関する実施方針

当面は、現在の指定管理者制度に基づき管理体制を維持していく。
法適用への移行も要請されていることから、今後のあり方について指定管理者等と話し合いを進める。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	52	53	51	
修繕費				
光熱水費等	52	53	51	建物保険料等
事業運営費	9,503	9,177	9,115	指定管理料
合 計	9,555	9,230	9,166	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	9,953	9,613	9,508	給水使用料
その他				
合 計	9,953	9,613	9,508	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1,071	1,038	1,011	給水人口

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等

330	施設名	富根地区簡易水道矢崎ポンプ場ポンプ室
	部局(課)名	二ツ井地域局（建設課）
	所在地	駒形字塚ノ岱36-32
	施設面積	4.86㎡
	建設年度	S59

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	1,050,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	S59＋耐用年数15年×1.2＝H14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－	
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
当面は、施設を維持、存続していくが、現在、国から公営企業会計適用を要請されていることなどから、今後、指定管理者等と施設更新や運営のあり方について検討を進める。 それまでは、機能維持のための修繕によりできるだけ建物の長寿命化を図り継続使用する。		

※集約・複合化の検討について

今後、集約・複合化について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

指定管理者制度を導入している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕を要する箇所はないが、突発的に大規模な修繕等が必要となった場合、その経費については、現在の基金残高だけでは対応できない恐れもある。

5 管理に関する実施方針

当面は、現在の指定管理者制度に基づき管理体制を維持していく。
法適用への移行も要請されていることから、今後のあり方について指定管理者等と話し合いを進める。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

22－供給処理施設No.330

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	52	53	51	
修繕費				
光熱水費等	52	53	51	建物保険料等
事業運営費	9,503	9,177	9,115	指定管理料
合 計	9,555	9,230	9,166	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	9,953	9,613	9,508	給水使用料
その他				
合 計	9,953	9,613	9,508	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1,071	1,038	1,011	給水人口

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



331	施設名	リサイクルセンター
	部局(課)名	環境産業部（環境衛生課）
	所在地	竹生字天神谷地131
	施設面積	760.16㎡
	建設年度	S44

※管理棟を含む

1 施設の概要

構造・階数	鉄筋コンクリート一部木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	台帳価格	54,951,930円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S44+耐用年数38年×1.2=H27

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	—	7,041千円
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 資源化物の分別作業として使用しているため、適切な維持・補修等により、施設の長寿命化に努める。 老朽化により施設の更新が必要な際は、適正規模の更新とする。 また、既存施設の活用についても検討する。		

※集約・複合化の検討について

集約・複合化は検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携は検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [30年超]

事務所は老朽化が進んでいることから改築し、事務所以外の施設については、適切な維持・補修等により延命化に努め継続的に使用する。

4 管理上の課題等

施設の老朽化が進んでいる。

5 管理に関する実施方針

延命化に向け、必要に応じて施設の改修・修繕等を実施し、適正な管理を行う。

6 管理に関する実施計画

総合計画実施計画において、H30年度～R4年度までの5年間で計画を策定。

修繕等の実績及び今後の計画

22-供給処理施設No.331

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	ヘッドローラーベアリング交換及びびん受入コンベア、田ヤリローラー交換修繕 他	168	
H30			
R1	リサイクルセンター事務所解体前アスベスト調査	567	
	リサイクルセンター事務所実施設計業務委託	1,353	
R2	リサイクルセンター事務所建替前アスベスト調査	451	
	リサイクルセンター事務所建替工事	26,812	
	リサイクルセンター外壁改修工事	5,695	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	793	576	610	
修繕費	229	0	81	
光熱水費等	564	576	529	
事業運営費	5,722	5,721	6,431	
合 計	6,515	6,297	7,041	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入	271	271	24	駐車場使用料、自動販売機
その他	412.18	466.09	41	
合 計	683	737	65	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	412	466	432	びん回収量

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等